

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】令和 6 年 3 月 8 日(2024.3.8)

【公開番号】特開 2022-157694(P2022-157694A)
【公開日】令和 4 年 10 月 14 日(2022.10.14)
【年通号数】公開公報(特許)2022-189
【出願番号】特願 2021-62056(P2021-62056)
【国際特許分類】

B 3 2 B 27/00(2006.01)

10

B 3 2 B 27/20(2006.01)

C 0 8 G 65/44(2006.01)

H 0 5 K 1/03(2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/00 1 0 3

B 3 2 B 27/20 Z

C 0 8 G 65/44

H 0 5 K 1/03 6 1 0 H

H 0 5 K 1/03 6 7 0

H 0 5 K 1/03 6 3 0 H

20

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 2 月 29 日(2024.2.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

30

第 1 の樹脂層と、前記第 1 の樹脂層の主面の少なくとも一方の面に積層された、第 2 の樹脂層とを有する硬化性樹脂積層体であって、

前記第 2 の樹脂層は、前記第 1 の樹脂層及び前記第 2 の樹脂層の合計の厚みに対して 5 ~ 35 % の厚みを有し、

前記第 1 の樹脂層は、(A 1) ポリフェニレンエーテルと、(B 1) フィラーとを含み、

前記第 2 の樹脂層は、(A 2) ポリフェニレンエーテルを含み、硬化物としてのヤング率 (Y M₂) が、3 . 0 G P a 以下であり、

前記第 1 の樹脂層の硬化物のヤング率 (Y M₁) と前記第 2 の樹脂層の硬化物のヤング率 (Y M₂) との関係が Y M₁ > Y M₂ であり、

40

前記 (A 1) ポリフェニレンエーテル及び (A 2) ポリフェニレンエーテルは、少なくとも条件 1 を満たすフェノール類を含む原料フェノール類から得られ、コンフォメーションプロットで算出された傾きが 0 . 6 未満であるポリフェニレンエーテルであることを特徴とする、硬化性樹脂積層体。

(条件 1)

オルト位およびパラ位に水素原子を有する

【請求項 2】

請求項 1 に記載の硬化性樹脂積層体を有するドライフィルム。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 に記載の硬化性樹脂積層体を硬化して得られる硬化物。

50

【請求項 4】

請求項 3 の硬化物を有する電子部品。

10

20

30

40

50